



東北大学

東北大学国際文化研究科 国際日本研究講座企画

公開講演



教誨師の仕事

日本における宗教教誨の歴史と現場を考える

THE WORK OF PRISON CHAPLAINS: KARMA AND PUNISHMENT

講師: アダム・ライオンズ
(京都アメリカ大学コンソーシアム博士研究員)

提言: 繁田 真爾
(東北大学JSPS特別研究員)

会場:
東北大学川内北キャンパス
マルチメディア棟6F (右)

日時:
2019年7月18日 (木)
16:30-18:00 (含質疑応答)



講師紹介:

1985年、イギリス生まれ。ハーバード大学大学院修了 (Ph.D.)。現在、京都アメリカ大学コンソーシアム博士研究員。学部時代、ジョージア州の死刑囚弁護士のアシスタントを勤めた。専門は日本近現代の宗教と社会 (歴史と人類学)。主要業績に、“Meiji Prison Religion: Benevolent Punishments and the National Creed” (2019), “From Marxism to Religion: Thought Crimes and Forced Conversions in Imperial Japan” (2019)。単著 *Karma and Punishment: Prison Chaplaincy in Japan* を執筆中。

後援 科研費・特別研究員奨励費 (課題番号 19J00772)
「近代日本における「監獄教誨」成立史の研究」 (代表: 繁田真爾)

問い合わせ先
shigeshin@gmail.com